

No. 11-5	平成6（1994）年 矢作川水系の渇水		
主要河川名	矢作川		
関係都道府県	愛知県		
取水制限	平成6年5月30日～平成6年9月20日		114日間

1. 渇水の概要

1.1. 経緯

平成6年の矢作川流域において、水需要が見込まれる4月下旬になってもまとまった降雨がなく、矢作ダムの貯水量は次第に減少し、5月25日には貯水率37.8%となった。

このため、同日に矢作川水利調整会議（幹事会）が開催され、5月30日から上水15%、工水・農水各30%の第一次節水が始められた。6月5日に上水25%、工水・農水各55%の節水強化が図られたが（第二次節水）、6月8日の梅雨入り後も貯水量の回復が望めるほどの降雨に恵まれず、7月8日には貯水率28.0%にまで減少した。このままの状況が続けば7月上旬にもダム貯水量が0となることが予想されたため、7月11日から上水33%、工水・農水65%（第三次節水）という厳しい節水対応を実施した。

こうした節水への努力と7月中旬にもたらされた断続的な降雨により、7月27日には貯水率50.6%に回復し、7月28日から上水25%、工水・農水55%（第四次節水）の節水変更が図られた。

しかし、その後降雨に恵まれず、ダム貯水量は再び減少を始め、8月18日には貯水率24.8%となったことから、8月22日から再度上水33%、工水・農水65%（第五次節水）の節水が実施された。9月16日に貯水率13.8%と最低貯水量となったが、9月16日から18日にかけて秋雨前線によるまとまった降雨に恵まれ、9月19日には貯水率57.6%と平年並みにまで回復したため、9月20日から節水は全面的に解除された。

1.2. 影響のあった水道事業体

都道府県	事業体名	水源名	影響を受けた内容
愛知県	岡崎市	矢作ダム	水質障害（6/27～7/4）
	碧南市	矢作ダム	一時断水（6/15、16、7/5、16、17）
	豊田市	矢作ダム	一時断水（6/7、8、10、7/6、13） 水質障害（6/7、7/6、7）
	安城市	矢作ダム	一時断水（6/5～7、7/6）
	西三河南部水道 企業団	矢作ダム	一時断水（6/7、8、7/4～7/28） 水質障害（6/7、8、10、12、7/7、8、18）
	幸田町	矢作ダム	一時断水（6/7～6/9、7/7～7/9、13、14）

	愛知中部水道企業団（三好町）	矢作ダム	時間給水（8/18～8/31） 水質障害（8/27）
--	----------------	------	-------------------------------

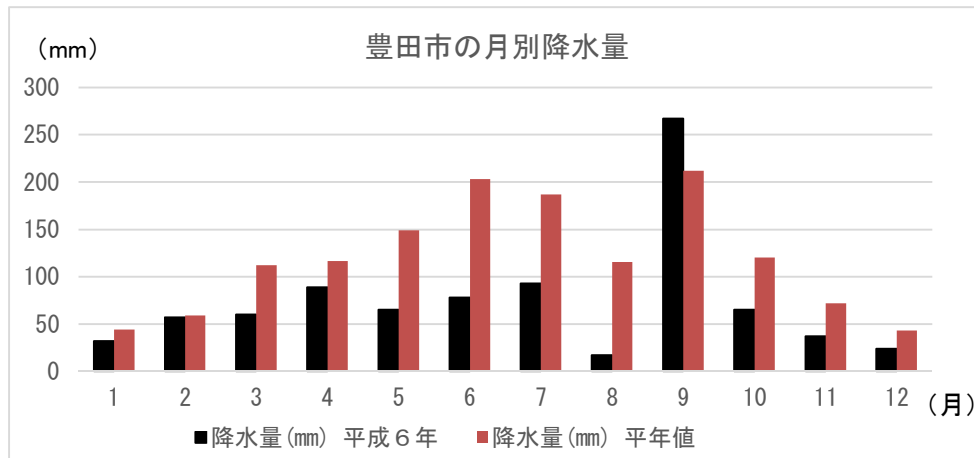
1.3. 主要河川と影響地域の位置図



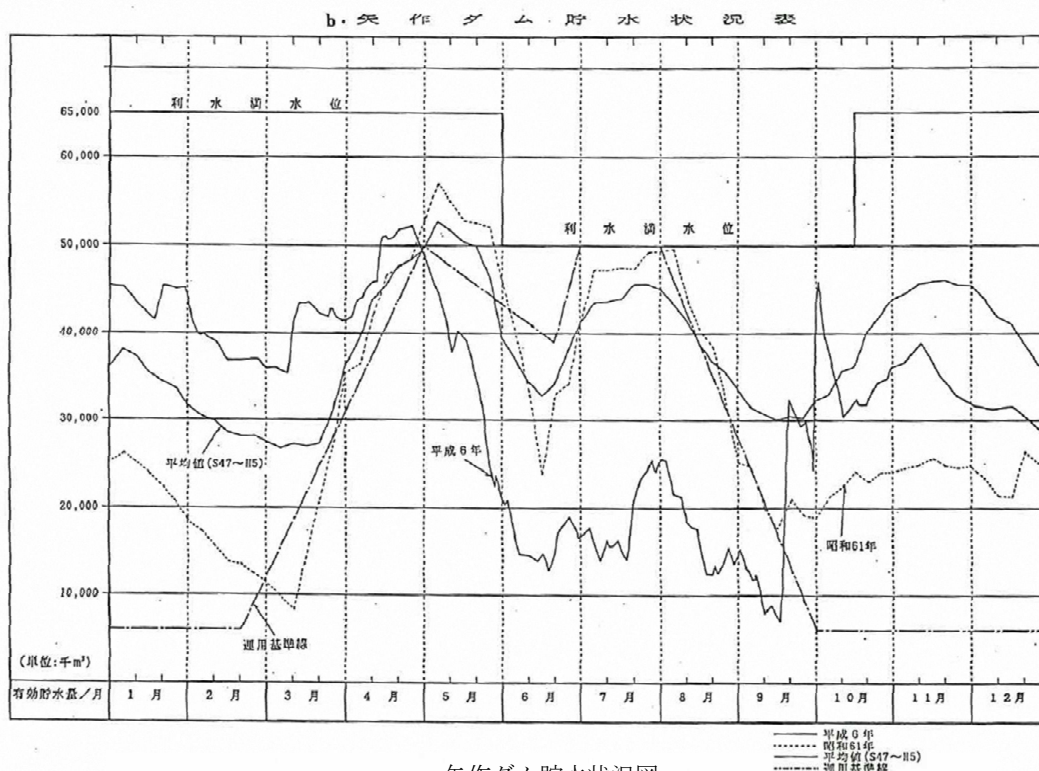
矢作川水系図

（出典：矢作川水系河川整備基本方針 国土交通省）

1.4. 主要な水源の状況



矢作川流域の月別降水量
(出典：過去の気象データ 気象庁HP)



矢作ダム貯水状況図
(出典：災害の記録 平成6年 愛知県)



矢作ダム (平成6年9月 貯水率17%)
(出典：矢作川水系河川整備基本方針
国土交通省)



矢作ダム貯水池 (平成6年9月)
(出典：矢作川水系河川整備基本方針
国土交通省)

2. 渇水調整状況

2.1. 渇水調整組織

名称	矢作川水利調整協議会
構成メンバー	(委員) 中部地方建設局河川部長、同 河川情報管理官、東海農政局建設部長、中部通商産業局総務企画部長、同 公益事業部長、愛知県企画部長、同 土木部長、同 農地林務部長、愛知県企業庁長、岡崎市長、明治用水土地改良区理事長、枝下用水土地改良区理事長、矢作川沿岸土地改良区連合理事長、矢作北部土地改良区連合理事長、中部電力（株）用地部長、同 土木建築部長 (幹事) 中部地方建設局水政課長、同 水政調整官、同 河川計画課長、同 河川調整課長、同 河川管理課長、同 矢作ダム管理所長、同 豊橋工事事務所長、東海農政局建設部設計課長、同 計画部地域計画課長、同 農政部管理課長、中部通商産業局産業施設課長、同 発電課長、愛知県水資源対策室長、同 河川課長、同 耕地課長、同 岡崎農地開発事務所長、愛知県企業庁水道部水道計画課長、岡崎市水道局長、同 農地改良課長、明治用水土地改良区事務局長、枝下用水土地改良区事務局長、矢作川沿岸土地改良区連合事務局長、矢作北部土地改良区連合事務局長、中部電力（株）用地部水利課長、同 土木建築部土木課長
開催状況及び 渇水調整方法	「2.2 渇水調整組織の会議開催等の状況」のとおり。

※構成メンバーに記載の組織名称は、「災害の記録 平成6年（愛知県）」記載の構成員

2.2. 渇水調整組織の会議開催等の状況

月日	渇水協開催等の状況	矢作ダム 貯水率
5/25	矢作川水利調整協議会幹事会（第2回） 上矢作観測所の2月～4月までの降雨は平年の51%と少なく、このまままとまった降雨が無ければ6月上旬には貯水量が0となることが予想されるため、5月30日からの水道15%、工水30%、農水30%の節水を決定。<u>(1次節水)</u>	37.8%
6/3	矢作川水利調整協議会幹事会（電話会議） このまま少雨状態が続けば6月中旬にも貯水量が0となることが予想されるため、6月5日からの水道25%、工水55%、農水55%の節水を決定。<u>(2次節水)</u>	38.0%
6/9	矢作川水利調整協議会幹事会（電話会議） 第3次節水への強化について電話協議が行われたが、第2次節水の継続を決定	29.4%

7/8	矢作川水利調整協議会幹事会（電話会議） 7月7日に発表された天気予報によると貯水量の回復に有効な降雨はあまり望まれないものと思われ、7月下旬にも貯水量が0となることが予想されるため、7月11日からの水道33%、工水65%、農水65%の節水を決定。（3次節水）	28.0%
7/27	矢作川水利調整協議会幹事会（電話会議） 7月中旬の断続的な降雨及び節水対策の実施により貯水量の回復が見られた。また水需要は最大期を迎え、各利水者の対応は極限的なものとなっている。そのため、今後も依然として予断は許されないものの、7月28日から水道25%、工水55%、農水55%に節水率の変更を決定。	49.8%
8/10	矢作川水利調整協議会幹事会（電話会議） 第5次節水への強化について電話協議が行われたが委員会開催の要望が多く強化は一時見合わせ。	36.6%
8/18	矢作川水利調整協議会委員会（第2回） 8月に入ってから少雨の影響により貯水量は約25%まで低減したため、8月22日から水道33%、工水65%、農水65%への節水強化を決定。	24.8%
8/24	矢作川水利調整協議会幹事会（第8回） 矢作川水系の節水対策について打合せ	27.2%
9/14	矢作川水利調整協議会幹事会（電話会議） ・9月に入ってからまとまった雨はなく、9月下旬早々には枯渇が予想されるため、各利水者は更なる節水努力をする。 ・ワールドカップカヌー大会への協力。	15.6%
9/16	矢作ダム最低貯水量 690 万 m³ を記録	13.8%
9/19	矢作川水利調整協議会幹事会（電話会議） 9月16日から18日にかけての降雨（上矢作観測所 134mm）により貯水量が平年並まで回復したことにより、9月20日から矢作川水系における節水の全面解除を決定。	57.6%

3. 渇水対応状況

3.1. 水道事業体における給水制限等の状況

3.1.1. 愛知県

(ア) 渇水対応の経過

事業体名	期間	内容
愛知県	7/11	愛知県渇水対策本部 設置 ・記者発表 ・各本部員へ通知 ・国の機関、75 市町村、電力会社及び各部局長へ渇水対策への協力を文書により依頼
	7/18	愛知県渇水対策本部 本部員会議 ・水源状況、渇水に伴う影響、渇水対策（協力要請、広報活動）について打合せ
	10/17	愛知県渇水対策本部 解散

(イ) 影響緩和のために実施した主な対策（他水系の渇水分を含む）

事業体名	内容
愛知県	・各県立学校、商工会議所等各団体に節水依頼 ・各県立学校のプールの使用中止（7/16～） ・私立学校プールの使用自粛を要請 ・県都市公園プールの平日の営業停止（7/19～）及び全面使用中止（8/13～） ・東海テレビにて時間給水中の衛生対策、溜置きについて P R

(ウ) 渇水時の広報事例（他水系の渇水分を含む）

事業体名	内容
愛知県	・テレビ・ラジオによる節水 P R 広報 ・電光ニュースによる節水 P R 広報（吹上インタービル等） ・節水の新聞広告（中日、朝日、読売、毎日等）に掲載 ・チラシによる節水協力依頼 ・節水協力ポスター配布 ・飛行機による節水呼び掛け広報（西三河地域 6 回） ※内容の一例：「こちらは愛知県営水道です。矢作ダムがピンチです。節水にご協力ください。」

4. 渇水を受けて実施したその後の対策の改善・見直し事項

事業体名	対応
愛知県	・平成7年度から8年度にかけて学識経験者からなる『愛知県水問題研究会』を設置し、水資源対策や渇水時対応等の在り方について検討

5. 渇水対策を実施した際に困ったこと・苦労したこと

記録無し

6. 参考文献・ウェブサイト等

- ・「災害の記録」愛知県
- ・「矢作川水系河川整備基本方針」国土交通省